

Command|8

Pro Tools システム用のオートメーション対応 ミキシング・コントロール・サーフィス

Mbox™へCommand|8を追加すると、Pro Tools LE環境へハンズオンでアクセスでき、またMIDIインターフェースの追加購入無しにMIDI機器を接続可能です。Digi 002とCommand|8を使用した際には、16フェーダー仕様のPro Tools LEワークステーションを手に行きます。このCommand|8によりMboxからPro Tools|HD Accelに至るまで、Pro Toolsのパワーをあらゆるコンフィギュレーションでコントロール可能です。

システム必要環境

Command|8はDigidesignの推奨するWindows® XPまたはMac OS® XベースのPro Tools LEシステム (Digi 002, Digi 002 Rack, Digi 001, Mbox) 及びPro Tools TDMシステム (Pro Tools|HD, Pro Tools|HD Accel) で動作します。

スペック

モニター・セクションのパフォーマンス：

・ダイナミック・レンジ: 102 dB (unweighted, 105 dB or better A-weighted)

・THD+N: 0.0015%以上

周波数特性: 20 Hz to 20 kHz, ± 0.2 dB

最大入力レベル: +22 dBu balanced (matches max. output level of 888|24 or 192 I/O, +4 dBu nominal; -18 dBFs reference level)

Digidesignの最新の製品情報及びシステム必要環境、最新ディベロップメント・パートナー・プラグイン及びソフトウェア互換性情報は www.digidesign.com にて御確認ください。

©8.05. Avid, Command|8, Digi 001, Digi 002, Digi 002 Rack, Digidesign, Mbox, PRE, Pro Tools, Pro Tools|HD は Avid Technology, Inc. またはその子会社、ディビジョンの商標または登録商標です。Windows 及び Excel は Microsoft Corp. の登録商標です。Macintosh OS は Apple Computer, Inc. の登録商標です。他の商標は各社が所有します。全ての機能及び仕様は予告なく変更される場合があります。

デジデザイン
アビッド テクノロジー株式会社

〒107-0052
東京都港区赤坂 2-11-7
ATT 新館ビル 4F

Tel 03.3505.7963
Fax 03.3505.3417
Email infojp@digidesign.com

www.digidesign.com
www.avid.co.jp

A division of **Avid**

Command|8

Pro Tools システム用のオートメーション対応 ミキシング・コントロール・サーフィス



FEATURES

- Pro Tools TDM 及び LE システムをサポート – ホーム・スタジオとプロ・オーディオ / ビデオ編集スイートのどちらにも最適
- PC または Mac へシンプルで USB 接続
- タッチコントロール回路を搭載した 8 本のムービング・フェーダー
- パン、センド、プラグインをコントロールする 8 個のロータリー・エンコーダー
- トラック名やパン、センド、フェーダー情報、プラグインの値、タイムライン位置を見やすく表示する高輝度な大型英数字ディスプレイ
- 各チャンネルで SELECT/SOLO/MUTE/REC を即座に実行可能
- Pro Tools の基本機能をワンタッチでコントロールできる専用トランスポート・セクション
- 2 系統ステレオ入力 (メイン及び Aux)
- モノ、ミュート、専用ボリューム・コントロール・ノブを搭載したモニター出力コントロール
- 専用ボリューム・コントロール・ノブを搭載したヘッドフォン出力
- ハイエンドのオーディオ・パフォーマンスを実現する Focusrite オンボード・モニター・システム
- 統合 MIDI インターフェース – 1-IN/2-OUT (16/32 ch)
- スタンドアロン MIDI コントローラー・モード – コントロールをソフトウェア / ハードウェア機器へ簡単にマッピング; Avid 製品ファミリーをサポート
- QuickPunch パンチイン用フットスイッチ

Pro Tools® TDM 及び LE softwareにより、レコーディング及びミキシングのあらゆる細部を、驚異的なレベルでコントロール可能です。しかし多くの Pro Tools オペレーターにとって、最速かつ最も満足できる方法とは、マウスとキーボードを使うことではありません。Digidesign® コントロール・サーフィスのハンズオン・フェーダーとボタン、ロータリー・エンコーダーを活用することで、Pro Tools の真のパワーと効率を発揮する満足感を得られるのです。

全てをハンズオン・コントロール

コントロール・サーフィスを使用することにより、Pro Tools のプロセスがより分かりやすいものとなり、身体を使ったセッションの作業が進行します。サウンドのアイデアを楽器同様に身体の直接的な導きによって実現可能。コントロール・サーフィスにより、コンピュータ画面に注意を払うのではなく、聴覚と感触に基づいた作業が実現します。

コントロール・サーフィスのメリットは、特にミキシング時に際立ちます。例えばトラックのミュートやソロ、パンニング、エフェクトやセンド・レベルの調整、プラグイン設定の変更などを要素毎にクリックするのではなく、複数の機能を同時に実行可能なのです。ボリュームのライドや複数トラックに渡るクロスフェードなどもフェーダーを動かすだけで実行でき、その結果を即座にリアルタイムで確認できます。

Digidesign のコントロール・サーフィス・オプションの製品ラインナップを補完する新製品となる Command|8 は、セッションを完全にコントロールでき、エルゴノミックかつ空間効率に優れた、オートメーション対応ハンズオン・ワークサーフィスです。マウスを使った Pro Tools オペレーションには付き物だった、目を細めてメニューを探し回る作業が Command|8 により不要となるため、生産性も大きく向上します。

Command|8 の登場

Digidesign と Focusrite の最新コラボレーションの成果である Command|8 により、Pro Tools LE 及び TDM システムのハンズオン・コントロールが、コンパクトかつ低価格なパッケージで実現します。Command|8 はフル機能のコントロール・サーフィスであり、空間に余裕の無いミュージック/ポスト・ファシリティーやホーム/プロジェクト・スタジオ

オ、そしてポータブル Pro Tools システムにも最適です。

Command|8 のフェーダーとロータリー・エンコーダー、ディスプレイ、専用トランスポート・コントロールにより、Pro Tools ミックスを伝統的なアナログ・コンソール同様のハンズオンの感触で構築できます。Command|8 と PC/Mac の接続は、シンプルな USB 接続で実現。Focusrite のオーディオ・パフォーマンスとクオリティを実現する Command|8 のオンボード・モニター・システムでは、Pro Tools オーディオと外部入力、スピーカー、そして独立コントロールされるヘッドフォン出力をコントロールできます。

Command|8 に搭載されるバンク切り替え可能な 8 チャンネルには、Digi 002® 同様に、タッチセンシティブ・フェーダーと LED モニタリング・リング付きのオートメーション対応ロータリー・エンコーダーが搭載されています。高輝度なバックライト付き 110 文字 LCD ディスプレイはチャンネル群の上部に配置されており、トラック名とパラメーター名の同時表示など、重要な情報を簡単に見渡すことができます。

Focusrite モニタリング

Command|8 には Focusrite デザインによるオンボード・アナログ・モニター・セクションが用意されているため、オーディオ・ミキサーも追加不要です。モニター・セクションには 2 系統の +4/-10 切り替え式ステレオ入力 (バランス/アンバランス) とステレオ・スピーカー出力 (+4/-10)、独立コントロールされるヘッドフォン・アンプが搭載されており、セッションの進行を確認するためにフレキシブルなモニタリング機能を活用できます。

MIDI コントロール

Command|8 は、コントロール・サーフィスとしての個性に加えて、1-IN/2-OUT の内蔵 MIDI インターフェースで MIDI のニーズにも応えます。アウトボードの MIDI 機器を Command|8 の MIDI ポートに接続するだけで、MIDI 情報を Pro Tools へレコーディング可能。Command|8 をスタンドアロン MIDI コントローラーとして使えば、MIDI コントロール・チェンジに対応した様々な機器のレベルやパン、ソロ、ミュート、MIDI マシン・コントロールなどのパラメーターをコントロールできます。また、Avid® 製品もネイティブ・サポートするため、オートメーション・ゲイン・ツールとも最もタイトな統合性が実現します。

最終ページへ続く

Command|8

110文字LCDディスプレイ (スクリブル・ストリップ)

- トラック名、トラック及びプラグインのパラメーター値、タイムコード等

チャンネル・ビュー・コントロール

- 選択した INSERT 及び SEND のプラグインまたは Pan/Send コントロール
- ボタン: EQ, DYNAMICS, INSERT, PAN/SEND/PRE, PAGE, MASTER BYPASS 等

コンソール・ビュー・コントロール

- 全チャンネルのパン、センド、インサートの状態表示を同時コントロール
- 初期状態ではチャンネル・パン・ポジション表示; スクリブル・ストリップに表示される SEND や INSERT を A-E の選択により決定

特殊キー

- コンピューター・キーボード上の各キーに対応

フェーダー・セクション

- +12 dB フェーダー・スケールをサポートする 100 mm タッチセンシティブ・ムービング・フェーダー
- SELECT、SOLO、MUTE ボタンと色分けされた LED インジケータ
- パン・ポジションやセンド・レベル等を表示する 11 LED リングを備えた多目的ロータリー・エンコーダー
- 5 セグメント LED メーター (0 to -42 dBFS)

コントロール・ルーム & ヘッドフォン・コントロール

- コントロール・ルーム: Mute、Mono、External Source モニター・セレクター; 専用ボリューム・レベル・コントロール
- ヘッドフォン: 1/4" ステレオ・ヘッドフォン・ジャック; 専用ボリューム・レベル・コントロール

その他のコントロール & インジケータ

- Rec イネーブル、Pan/Meter (L/R インジケータ付き)、Enter、Undo セレクター
- スタンドアロン・ボタン - Command|8 を MIDI コントローラー・モードに切り替え
- USB 及び MIDI アクティビティ・インジケータ

マスター・フェーダー / Flip コントロール

- マスター・フェーダー: 右端のフェーダーにマスター・フェーダー・コントロールを移動
- Flip: PAN/SEND 及び INSERT コントロールをロータリー・エンコーダーからフェーダーへ移動

ナビゲーション・キー

- 4つのナビゲーション・パッドで、ソフトウェア・ミキサーを 8 フェーダー単位で BANK 切り替え、1チャンネル毎に NUDGE して移動、トラック・データを水平または垂直方向に ZOOM イン / アウト、再生セレクターを水平または垂直方向へ移動

特別機能コントロール

- Utility、Midi Edit (MIDI マッピング用)、PRE/Midi リコール (MIDI コントローラー・セットや MIDI マップ、Digidesign PRE のパラメーター値のリコール)、Fader Mute、プラグイン Focus

一般的なコントロール

- Pro Tools インターフェイス・ウィンドウ (プラグイン、ミックス、編集)、ループ再生、ループ録音、QuickPunch、メモリー・ロケーションの選択

トランスポート・コントロール

- Pro Tools 内の共通トランスポート機能 (プレイ、レコード、ストップ等)



電源部

- 電源ケーブル端子
- 電源スイッチ

インターフェース

- 1-IN/2-OUT MIDI インターフェース
- USB 端子
- 1/4" バンチン端子

出力

- スピーカー出力 - +4/-10 dB プッシュ・ボタン付き 1/4" TRS (バランス / アンバランス) 端子

モニター入力

- Main 及び External Source ステレオ入力 - ペア毎に +4/-10 dB プッシュ・ボタン付きの 1/4" TRS (バランス / アンバランス) 端子